

第3学年3組 算数科学習指導案

令和4年12月15日(木) 第4時限 3年3組教室 指導者

1 単元名 分数(本時7/10)

2 本時の目標

同分母分数のたし算のやり方を、文章で書いたり図を使ったりして説明することができる。

(思考力・判断力・表現力)

3 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入 (10)	<p>1 ピザの模型を用いて、分数のたし算ができることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/4枚と3/4枚を足すと1枚になる。 <p>2 問題1を読み、2/5と1/5を足すと3/5になることを、教師の演示を見て確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2/5と1/5をたすと本当に3/5になる。 <p>3 学習課題を把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1/4、3/4カットのピザの模型を用意する。 2枚のピザを合わせるように操作し、分数は足し合わせられることに気付かせる。 それぞれ2/5L、1/5Lの色水が入ったビーカーを用意し、2つの色水を合わせると、$2/5 + 1/5 = 3/5$になることを示す。
課題 (1)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 分数のたし算を説明できるようになろう </div>	
展開 (27)	<p>4 問題1の解き方の説明を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図を使うと考えやすいね。 1/5が2つと1/5が1つで、合わせて1/5が3つになるね。 ピザの模型が分かりやすいよ。 分子の1と2を足して3になるから、3/5になる。 どうやっていいかわからない。 <p>5 考えた解き方をチームで伝え合い、もう一度解き方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> Aさんの解き方がいいね。 Bさんの解き方を参考にしてみよう。 <p>6 問題2を解き、やり方を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1/6が1つと1/6が3つで、合わせて1/6が4つになるね。 やり方は問題1と一緒にだね。 <p>7 問題3・4を解く</p>	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧に相手にわかりやすい説明を考え、スクールタクトに書くよう指示する。 最初は個人で考えさせる。 個人で考えることができない児童には、チームの仲間に質問してもよいことを知らせる。 図を用いた解き方しか思い浮かばない児童がいた場合は、描いた図を言葉でも表現してみるよう指示する。 解き方をうまく説明できない場合は、図を使うように指示する。 <u>学び合いによって、新たな考えや視点をもったり、自分の考えを深めたりするなど、チーム学習の学びのモデルを見つけ、その場で共有し、よりよい活動へつなげる。</u> やり方を説明できている児童を称賛する。 問題を解き終わった児童へ、丸つけを行う。
整理 (7)	<p>8 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 分数のたし算は、1/5や1/6がぜんぶで何個あるか考えればできるね。 <p>9 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> Cさんの説明がわかりやすかったよ。 Dさんが困っていたときに、きちんとやり方を説明することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解き終わった児童へ、丸つけを行う。 早く終わった児童には、算数の友や計算ドリルを解くように指示をする。 本時の授業を通して学んだことを、スクールタクトに記入するように指示する。 チーム学習での友達との関わり合いの活動を通して思ったことを、スクールタクトに記入するように指示する。

4 評価

同分母分数のたし算のやり方を説明することができる。

(活動3、4、5、6の様子から)